

【教育実践報告】

平成29年度園芸班 活動報告

井上広大¹・山路利英¹・有山浩司²・園芸班・飛田有支³・浅田真一³

はじめに

園芸班は農学部の有志学生が集う学部公認団体である。平成29年度は11年目となる。

平成29年度の園芸班の活動

平成29年度は例年の活動の他に、下記に示すような、K-12との連携授業やオープンキャンパスなどにも参加し、活動の幅を広げてきた。

平成29年度の特別な活動

- 5/15 中学年(5年生)「稲作の学習」の補助
- 8/4 流しそうめん(新入生歓迎会)
- 8/20 オープンキャンパスでマリーゴールドを配布
- 11/11,12 収穫祭で展示発表および野菜販売
- 12/21 芋煮会
- 1/18 たくあん作り
- 3/18 2017年度農学部長賞受賞
- 3/26 加工班と試作会(収穫物を利用)

① 学内の美化活動

学内美化のためにチューリップ、ヒマワリ、ビオラなど季節の花の栽培を行った。花苗は学内農場内の温室で栽培し、毎朝の灌水、鉢上げなどの管理作業を行った。学内を常に美しく彩るために、プランターや花壇に定植した花は、定期的に交換した。



大グランド脇通路への花苗の植栽作業



モルトプランターへの花苗の植栽

¹ 玉川大学農学部環境農学科 玉川学内農場 東京都町田市玉川学園6-1-1

² 玉川大学農学部生産農学科 玉川学内農場 東京都町田市玉川学園6-1-1

³ 玉川大学農学部生産農学科 東京都町田市玉川学園6-1-1

② K-12（中学年5年生）「稲作の学習」の補助

中学年（5年生）の「稲作の学習」にて、播種、田植え、稲刈り、精米の補助を行った。活動中は、中学年生達に稲作について知識を深めてもらうため、分かりやすく説明できるような準備をした。説明をすることによって、自らも深い学びを行うことができた。また、待ち時間には学内農場の見学会を行うなど、他の作物との違いを伝えた。



種籾の播種作業の補助

③ オープンキャンパスへの参加

8月のオープンキャンパス時に、マリーゴールドの配布を6号館前で行った。マリーゴールドは、2か月前から300粒程度播種を行い、綺麗に開花した100株を配布した。管理中はダニなどの病害虫に細心の注意をはらった。オープンキャンパスの来校者に農学部の魅力を知っていただくため、より丁寧な対応を心掛けた。



マリーゴールドの配布準備



田植え作業の補助



来校者への花の配布

④ 収穫祭

期間中に6号館での展示と野菜販売を行った。展示では「終わらない夏」をテーマに、スイカやトマトなどの夏野菜を紹介した。野菜販売では自分たちで考えたレシピも配布した。来園者に対して活動で得た知識を分かりやすく伝えることを心掛け、それぞれ、展示大賞・模擬店大賞を受賞することができた。



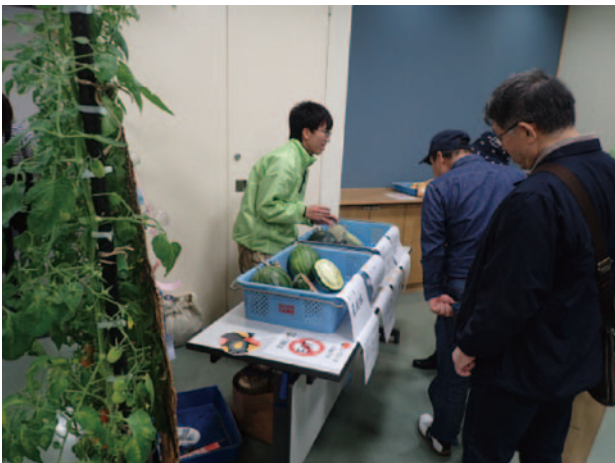
生産した野菜類の販売

⑤ 生産加工班との連携活動

生産加工班と協力し、園芸班で収穫した小麦を材料に、桜餅、おこわ、うどん、肉まんの作成を行った。日頃にはできない、食品を扱う上での衛生管理や加工技術について学ぶことができた。



肉まんの試作



収穫祭での展示による活動報告



桜餅の試作